

キリストの光 光のキリスト

年間第15主日 7月12日

(マルコ 6・7 —13)

「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」。マルコ福音書に記されているイエスの第一声。

イエスは誰なのか…。福音書のちようど中間のところで、イエスは弟子たちに尋ねる。

「あなたがたはわたしを何者だと言うのか」。ペトロが答える。「あなたは、メシア」

答えは正しい。しかし、イエスは、「御自分のことをだれにも話さないようにと弟子たちを戒め」られる。

その後、イエスはご自分の死と復活について話し始める。ペトロは、メシアにそんなことがあるはずがないと思う。思うだけではなく、イエスをいさめ始める。

どこを向いている

ペトロはしかられる。

イエスは弟子たちの「メシア像」を変えようとする。何度も、受難、死、復活について教えられる。しかし弟子たちは理解できない。最後まで、イエスが死んだ後、十一人が食事をしているところにイエスが現れたが、その時もイエスは弟子たちの不信仰とかたくなな心をとがめている。

続いてイエスは、そのような十一人の弟子たちに言う。

「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」。弟子たちは出かけて行って、至るところで宣教する。今日の福音。マルコ福音書の第六章。

イエスは十二人を呼び寄

せ、二人ふたりずつ組くみにして遣つかわす。
十二人にんは出でかけて行いって、悔く
改あらためさせるために宣教せんきょうし
た。イエスの救すくいの業わざはまだ
完成かんせいしていないのに、何を宣せん
教きょうしたのだろう。弟子でしたちは
イエスの本ほん当とうの姿すがたがまだ分わか
っていないのに。



宣教せんきょうの内容ないようははつきり示しめさ
れていないが、宣教せんきょうに出でかけ
るときころの心構こころがまえと、その目的もくてき
は示しめされている。

弟子でしたちは、悔く改あらためさせ
るために宣教せんきょうした。

「悔く改あらため」。それは神かみに

こころを向むけること。罪つみを悔く
い、完壁かんぺきな人間にんげんになることを
目指めざすことではない。イエス
に向むくこと。イエスの方ほうに向む
きを換かえること。それを呼よび
掛かけるためにイエスは弟子でした
ちを派遣はけんした。

食たべ物ものを得えるために金かねにこ
だわり、物ものをあふれるほど持も
ち、必要ひつようのないものはどんど
ん捨すてていく。揚げ句くは神かみか
ら与あたえられた環かん境きょうを破は壊かいす
る。動物どうぶつたちは絶滅ぜつめつし、かつて
ない疫えき病びょうがはやり、人々ひとびとの悩なや
みが増大ぞうだいしていく。孤独こどくにさ
いなまれ、自分じぶんに合あわなにか
ら、気きにくわないからといっ
て人ひとを殺ころす。自然しぜんとともに人ひと
が日々ひび破は壊かいされていく。それ
に一瞬いつしゅんだけ気きづき、また日にち

常じょうを重かさねていく。「マニフェ
スト」なるものを見みても、そこ
にあるのは金かねの数字すうじだけ。目め
先さきのことだけ。果はては間違まちがっ
た「メシア像ぞう」を作り上あげ、そ
れを公言こうげんし、うそを本ほん当とうだと
声こゑを大だいにして叫さけび、人々ひとびとはそ
れについていく。

悔く改あらため。イエスの方ほうに向む
くこと。それを呼よび掛かけること。
これがわたしたちに与あたえられた
使命しめい。教会きょうかいに与あたえられた使命しめい。

(山元眞—福岡教区司祭／カット—高崎紀子)

今週の福音

13日・月	マタイ 10・34	～ 11・1
14日・火	マタイ 11・20	～ 24
15日・水	マタイ 11・25	～ 27
16日・木	マタイ 11・28	～ 30
17日・金	マタイ 12・1	～ 8
18日・土	マタイ 12・14	～ 21